

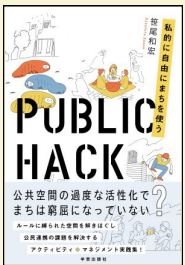


共生社会に関する本

- ・奇跡のフォント 教科書が読めない子どもを知って-UDデジタル教科書体開発物語 高田裕美／著 時事通信出版局 2023.4
- ・「良かったこと探し」から始めるアクセシブル社会 障害のある人の日常からヒントを探る 星川安之／著 小学館 2023.4
- ・<わたし>から始まる社会学 家族とジェンダーから歴史、そして世界へ 平井晶子 他／編 有斐閣 2023.3
- ・認知症にやさしい健康まちづくりガイドブック 地域共生社会に向けた15の視点 今中雄一 他／編著 学芸出版社 2023.3
- ・社会を変えるスタートアップ 「就労困難者ゼロ社会」の実現 小野貴也／著 光文社新書 2023.1
- ・外国人集住団地 日本人高齢者と外国人の若者の“ゆるやかな共生” 岡崎広樹／著 育鵬社 2022.7
- ・共生のための社会情報学 岡野一郎／著 農林統計出版 2022.6
- ・デザインと障害が出会うとき Graham Pullin／著 オライリー・ジャパン 2022.3
- ・レインボーブックガイド 多様な性と生の絵本 草谷桂子／著 子どもの未来社 2022.2



★『窓ぎわのトットちゃん』
黒柳徹子／著
講談社 1981.3



★『PUBLIC HACK
私的に自由にまちを使う』
笹尾和宏／著
学芸出版社 2019.9

- ・集まる場所が必要だ 孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学 エリック・クリネンバーグ／著 英治出版 2021.12
- ・多様性との対話 ダイバーシティ推進が見えなくするもの 岩淵功一／編著 青弓社 2021.3
- ・ユニバーサルデザインの基礎と実践 ひとの感覚から空間デザインを考える 日本福祉のまちづくり学会身体と空間特別研究委員会 他／編 鹿島出版会 2020.10
- ・障がい者だからって、稼がないと思うなよ。 ソーシャルファームという希望 姫路まさのり／著 新潮社 2020.3
- ・障害者と表現活動 自己肯定と承認の場をはぐくむ 川井田祥子／著 水曜社 2020.3
- ・当事者に聞く自立生活という暮らしのかたち 河本のぞみ／著 三輪書店 2020.3
- ・居場所づくりにいま必要なこと 子ども・若者の生きづらさに寄りそう 柳下換 他／編著 明石書店 2019.9
- ・発達障害の人が働くときに知っておきたい10の基本 男性も女性も、新入社員もベテラン社員も 仕事が辛いと思ったら自分を点検してみる 宮尾益知／著 河出書房新社 2019.7
- ・よくわかるインクルーシブ教育 湯浅恭正 他／編著 ミネルヴァ書房 2019.5
- ・知のバリアフリー 「障害」で学びを拓げる 嶺重慎 他／編 京都大学学術出版会 2014.12
- ・社会不満足 対談乙武洋匡 乙武洋匡／著 中央法規出版 2014.11
- ・映画で地球を読む 地球市民のための教養講座 三輪昭子／著 黎明書房 2009.10

★『あおくんときいろちゃん』
レオ・レオーニ／作 至光社 1981



きいろちゃんの
わくわくしながら
おうちに
いきました

ともにいきる

「共生社会」をテーマにした司書おすすめ本
京都府立図書館 2023.11



わたしは家族を信じることを、自分で選んでいいのだ。逆もまた同じで、家族はわたしを信じることを、選んでくれたのだ。

『家族だから愛したんじゃないやなくて、愛したのが家族だった』
岸田奈美／著 小学館 2020.9

でも健二も。ただ、そこにいるひとたちと……いたいですよ、俺も



『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』
川内有緒／著 集英社インターナショナル 2021.9

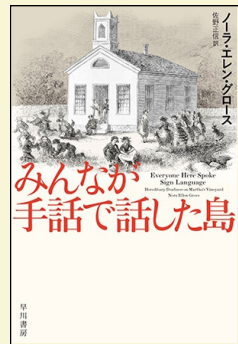
多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
The Real British Secondary School Days』
ブレイディみかこ／著 新潮社 2019.6



- ・世界はさわらないとわからない 「ユニバーサル・ミュージアム」とは何か 広瀬浩二郎／著 平凡社 2022.7
- ・世界を手で見る、耳で見る 目で見ない族からのメッセージ 堀越喜晴／著 毎日新聞出版 2022.5
- ★ユニバーサル・ミュージアム さわる!“触”の大博覧会 国立民族学博物館 他／編集 小ざ子社 2021.9
- ・病と障害と、傍らにあった本。 齋藤陽道 他／著 里山社 2020.10
- ・手で見るとのち ある不思議な授業の力 柳楽未来／著 岩波書店 2019.2
- ・平家物語 犬王の巻 古川日出男／著 河出書房新社 2017.5
- ・ゆびさきの宇宙 福島智・盲ろうを生きて 生井久美子／著 岩波書店 2015.2
- ・中途障害者の心理と支援 視覚に障害のある人々を中心に 柏倉秀克／著 久美 2011.2
- ・視覚障害者と晴眼者がコミュニケーションをとるためのガイド 桜雲会／編 桜雲会出版部 2008.7
- ・塙保己一とともに ヘレン・ケラーと塙保己一 堺正一／[著] はる書房 2005.9
- ・アイ・ラブ・フレンズ シネマ・メイキング版 大澤豊／監修 文理閣 2001.10



『みんなが手話で話した島』
ノラ・エレン・グロース／著
早川書房 2022.10

- ・聴こえない母に訊きに行く 五十嵐大／著 柏書房 2023.5
- ・マイノリティ・マーケティング 少数者が社会を変える 伊藤芳浩／著 筑摩書房 2023.3
- ・はるの空 耳の間こえない私は、音のない世界をこう捉え、こんな風に生きてきた。 春日晴樹／著 ジアース教育新社 2021.3
- ・ALSを生きる いつでも夢を追いかけていた 谷川彰英／著 東京書籍 2020.3
- ・異なり記念日 齋藤陽道／著 医学書院 2018.7
- ・声めぐり 齋藤陽道／著 晶文社 2018.7
- ・命の響 左手のピアニスト、生きる勇気をくれる23の言葉 舘野泉／著 集英社 2015.5
- ・さらさらさん 大野更紗／著 ポプラ社 2013.3
- ・カーボン・アスリート 美しい義足に描く夢 山中俊治／著 白水社 2012.7
- ・英国王のスピーチ 王室を救った男の記録 マーク・ローグ 他／著 岩波書店 2012.6
- ・デコボコ映画館 ハンディキャップ映画について語ろう 粉雪まみれインタビュー集 粉雪まみれ／著 リトルモア 1999.2
- ・さっちゃんのまほうのて たばたせいいち [ほか]／作 偕成社 1985.10
- ・はせがわくんきらいや 長谷川集平／さく すばる書房 1984.3
- ・愛、深き淵より。 筆をくわえて綴った生命の記録 星野富弘／著 立風書房 1981.1



『光とともに...』
戸部けいこ／著
秋田書店 2001.8



★『注文をまちがえる料理店
忘れちゃったけどまちがえちゃったけどまあいいか』
小国士朗／著 あさ出版 2017.11

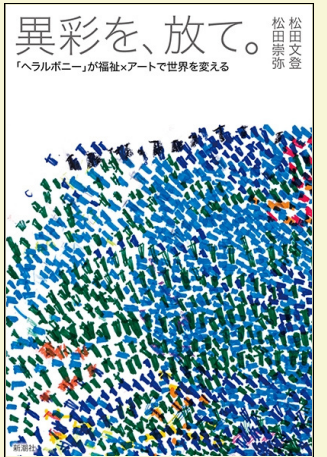
- ・共に生きる金澤翔子 金澤泰子／文 芸術新聞社 2021.12
- ・脳が壊れた 鈴木大介／著 新潮社 2016.6
- ・ちょっと不思議な絵本の時間おとなが読みあい語りあう Re〜らぶ(高次脳機能障がい者を支援する会)／編 かもがわ出版 2015.7
- ・世界文学全集 2-12 ブリキの太鼓 池澤夏樹／個人編集 グラス／著 河出書房新社 2010.5
- ・自閉症の僕が跳びはねる理由 東田直樹／著 エスコアール出版部 2007.2
- ・博士の愛した数式 小川洋子／著 新潮社 2003.8
- ・花子 川内倫子／写真 リトル・モア 2001.10
- ・ぼくらはみんな生きている 18歳ですべての記憶を失くした青年の手記 坪倉優介／著 幻冬舎 2001.6
- ・自閉症だったわたしへ ドナ・ウィリアムズ／[著] 新潮社 1993.10
- ・アルジャーノンに花束を ダニエル・キイス／著 早川書房 1979
- ・わたしたちのトビアス セシリア=スベドベリ／編 偕成社 1978.9
- ・個人的な体験 大江健三郎／著 新潮社 1964.8

自分がほとんど常時、この「水フィルター」に
当てるものに包まれていると感じて生きていて、
それを「水中世界」と呼んでいる。



『みんな水の中
「発達障害」自助グループの文学研究者は
どんな世界に棲んでいるか』
横道誠／著 医学書院 2021.5

『異彩を、放て。「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える』
松田文登 他／著
新潮社 2022.10



★は京都岡崎 蔦屋書店
特設コーナーにて展示中